

この時代（すなわち、奥義の時代）の満了

聖書：マタイ 28:20. 啓 10:7. I テモテ 1:4. 3:9. エペソ 3:9. 5:32. ヘブル 11:6

I. 「わたしはこの時代の満了まで、日々あなたがたと共にいる」——マタイ 28:20：

- A. 「満了」という言葉が意味するのは、完成または成就へともたらされる過程があるということです——24:3。
- B. この時代の満了とこの時代の終わりは、同じことを言っています。
- C. マタイ第 28 章 20 節で「この時代の満了」が示していることは、召会時代（すなわち、恵みの時代）の終わりです——ヨハネ 1:14, 16-17. 啓 22:10。
- D. この時代の満了は、大患難の三年半のことです——ダニエル 12:4, 6-7, 9。

II. 現在の時代（すなわち、恵みの時代、召会の時代）は、奥義の時代です——エペソ 5:32：

- A. 啓示録第 10 章 7 節は、「神の奥義は完成される」と言います。神の奥義を完成するとは、奥義の時代を閉じることです——コロサイ 2:2. エペソ 3:3, 5. 5:32。
- B. アダムからモーセまでの時代と、モーセからキリストまでの時代では、あらゆることは明らかに示され、奥義はありませんでした。それは、千年王国の時代でも、新しい天と新しい地でも、同じです。あらゆることは明らかに示され、もはや奥義はありません。
- C. キリストの肉体と成ることから千年王国までの時代（すなわち、召会時代、恵みの時代）では、あらゆることは奥義です——I テモテ 3:9：
 - 1. キリストの肉体と成ることは奥義であり、奥義の時代の開始です。キリストの肉体と成ることを通して、無限の神は有限な人の中へもたらされました——16 節。
 - 2. キリストは神の奥義です——コロサイ 2:2：
 - a. 神は奥義です。神の具体化として神を表現するキリストは、神の奥義です。
 - b. キリストは神の奥義として、神の具体化です。神たる方の全豊満は、肉体のかたちをもってキリストの中に住んでいます——コロサイ 2:9。
 - 3. 召会はキリストの奥義です——エペソ 3:4-6：
 - a. キリストは奥義です。キリストのからだとしてキリストを表現する召会は、キリストの奥義です。
 - b. キリストと召会が一つ霊であることは、偉大な奥義です——エペソ 5:32. I コリント 6:17。
 - c. 召会時代（奥義の時代）の間に、キリストは、召会、キリストのからだを建造して、彼の花嫁とならせつつあります——マタイ 16:18. ローマ 12:4-5. I コリント 12:12, 27. エペソ 4:16. コロサイ 1:18. 啓 19:7-9。
 - 4. 天の王国、福音、キリストの内住、聖徒たちの来たるべき復活と変貌はすべて、世々にわたって隠されていた奥義です——マタイ 13:11. エペソ 6:19. コロサイ 1:26-27. I コリント 15:51-53。
 - 5. 第七のラッパが吹かれて鳴る時、すべての奥義は完成し、成就し、終わります——啓 10:7。
- D. わたしたちは、「万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義

のエコノミー〔経綸〕が何であるかを、すべての人を照らして明らかにする」ことを必要とします——エペソ 3:9 :

1. 新約において奥義は、わたしたちに対して隠されていて知らされていないものを指しているだけでなく、神の心の中に隠されているものも指しています——マルコ 4:11. ローマ 16:25-26. コロサイ 1:26-27. 2:2. 4:3. エペソ 1:9. 3:3-4, 9. 5:32. 6:19。
2. 神の奥義は、神の隠されている定められた御旨であり、それはご自身を神の選ばれた人々の中へと分与することです。このゆえに、神の奥義のエコノミーがあります——エペソ 3:9。
3. 神の心の中に隠された奥義は、神の永遠のエコノミーです（エペソ 1:10. 3:9. I テモテ 1:4）。それは、神の永遠の意図と神の心の願いであって、ご自身を彼の神聖な三一の中で、すなわち、御父を御子の中でその霊によって、彼の選ばれ贖われた人々の中へと分与して、彼らの命と性質とならせることです。それによって彼らは、彼であるのと同じになって彼の複製となり（ローマ 8:29. I ヨハネ 3:2）、一つの有機体、すなわちキリストのからだとなって、新しい人となり（エペソ 2:15-16）、それは新エルサレムとなります（啓 21:2 — 22:5）。
4. パウロは、キリストの計り知れない豊富の福音を宣べ伝えました。彼はまた、神の中に隠されていた奥義のエコノミーに関する福音を宣べ伝えました——エペソ 3:8-9 :
 - a. 神の中に隠されていた奥義のエコノミーに関する福音は、神の永遠の定められた御旨にしたがって、召会を生み出し、こうして神を表現し、神の栄光を現すことです——エペソ 3:10-11, 21。
 - b. 今日わたしたちは、神の中に隠されていた奥義に関する福音を宣べ伝えて、万物を創造された神の中に隠されていた奥義のエコノミー〔経綸〕が何であるかを、すべての人を照らして明らかにしなければなりません。神が万物を創造されたのは、神のみこころ、神の心の願い、神の永遠の定められた御旨を成就するためです——エペソ 1:5, 9, 11. 3:8-11。

Ⅲ. 奥義の時代は、信仰の時代です——ヘブル 11:1, 6. 啓 10:7. I テモテ 3:9 :

- A. 神の奥義は、信仰によって知らされます。こういうわけで、奥義の時代は、信仰の時代でもあります——啓 10:7。
- B. 信仰は実体化する能力であり、それによってわたしたちは、見ていない事柄や望んでいる事柄を実体化して、それらに実体を与えます——ヘブル 11:1 :
 1. 信仰は、見ていない事柄をわたしたちに確信させ、わたしたちが見ていないものをわたしたちに確認させます。ですから、それは見ていない事柄の証拠、証明です——1 節。
 2. わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目をとめ、それを見つめます——II コリント 4:18。
 3. クリスマン生活は、見えないものの生活です。主の回復は、彼の召会を見えるものから見えないものに回復することです——ローマ 8:24-25. ヘブル 11:27. I ペテロ 1:8. ガラテヤ 6:10。
- C. 信仰は、神が人においてご自身の新約エコノミーを遂行する唯一の道です——ヘブ

ル 11:6 :

1. 神のエコノミーは、信仰の中にあります。それは、信仰という領域と要素の中で開始し発展する事柄です。信仰がなければ、わたしたちは神のエコノミーを実際化することができません——I テモテ 1:4。
2. 神の新約エコノミーの中で、信仰は、人々が神に接触するための唯一の要求です——ヘブル 11:1, 6. I テモテ 1:4。
3. 新約エコノミーの中にあるすべてのことに関して、わたしたちに対する神の要求は、信仰です——ローマ 1:16-17. ガラテヤ 2:20. エペソ 3:17. マルコ 11:22. ルカ 18:8。
4. 真の信仰とは、キリストご自身であり、彼はわたしたちの中へと注入されて、彼を信じるわたしたちの能力となります。主イエスはわたしたちの中へと注入された後、自然にわたしたちの信仰となります——ローマ 3:26。
5. キリスト・イエスにある信仰を通して、わたしたちはキリストとの有機的な結合の中へともたらされます。この有機的な結合の中で、わたしたちはキリストを経験し、キリストを生きます——ガラテヤ 2:16, 20. ヨハネ 14:17. エペソ 3:17。
6. からだの中で、「神がそれぞれに……信仰の度量」を割り当てました。ですから、わたしたちは自分自身について思うべきことを超えて思い上がることなく、「むしろ……冷静な思いで思うべきです」——ローマ 12:3。
1. 信仰は勝利者たちに対する神聖な要求であり、この要求は、キリストが勝ち誇って戻られるとき、彼らがキリストに会って、王国の褒賞を受けるためです——ルカ 18:8. II テモテ 4:7 後-8 前. ヘブル 10:35, 39。